

「仕合わせ」と「幸せ」

～中島みゆき「糸」 から考える～

の
あ
わ
い

いまや中島みゆきさんの代表曲となった「糸」の歌詞の最後は、「逢うべき糸に出逢えることを人は仕合わせと呼びます」と書かれています。中島さんはここでなぜ、一般的な「幸せ」ではなく、「仕合わせ」という表記を使ったのか。その背景にある人生の受け止め方や人間観を、倫理学・日本思想の観点からお話いただきます。

《講師》日本女子大学 国際文化学部 国際文化学科

伊藤 由希子 准教授

日時 2023年11月19日(日) 13時半～15時

場所 くまもと交流館パレア 9階 第1会議室

◇参加費 無料 (他支部、一般の方の参加もお待ちします)



主催：日本女子大学桜楓会熊本支部

◆お申込方法：日本女子大学桜楓会熊本支部
TEL 096-345-3750 または メールアドレス
ZUD06011@nifty.ne.jp のどちらかに ①参加人数
②参加者名 ③代表者の携帯番号を録音(留守電へ)
または入力(アドレスへ)して下さい。



(講師紹介) 伊藤由希子 准教授 プロフィール

日本女子大学国際文化学部国際文化学科准教授。1975年神奈川県生まれ。東京大学文学部卒業。同大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士(文学)。東京大学死生学・応用倫理センター特任研究員、鎌倉女子大学准教授、日本女子大学人間社会学部文化学科准教授などを経て、現職。専攻は、倫理学、日本思想。著書に、『女たちの精神史——明治から昭和の時代』(春秋社)、『仏と天皇と「日本国」——『日本霊異記』を読む』(ペリカン社)。共著に『死者はどこへいくのか——死をめぐる人類五〇〇〇年の歴史』(河出書房新社)など

【講師派遣事業とは】 支部主催の講演会を、桜楓会員をはじめ広く地域の方も参加可能として開催すること条件に、講師謝金・旅費交通費・旅行傷害保険(地方支部講演会の場合)を負担し、理事会が委嘱した大学教員を講師として派遣する桜楓会の公益事業のひとつです。